

日本視覚学会2022年冬季大会プログラム

期 日：2022年1月19日（水）～1月21日（金）

場 所：オンライン（ZoomとGatherを併用．参加者にメール連絡）

主 催：日本視覚学会

- 一般講演（口頭発表）は発表時間15分，質疑5分の計20分です．
- 一般講演ではZoomを使用します．
- ポスター発表ではGatherを使用します．オンライン上にポスターを掲示することにはなりません，A0サイズ横を想定しポスターを作成してください．
- 大会期間前の接続練習期間に，口頭発表の場合にはZoomへの接続ならびに画面共有のテスト，ポスター発表の場合にはGatherへの接続ならびにポスター掲示のテストを行ってください．
- 接続テストやその他発表方法の詳細については，Slackにてお知らせします．
- ポスター発表の在席責任時間は下記の通りです．
2p01-2p10：奇数番号10:30～11:15，偶数番号11:15～12:00
2p11-2p19：奇数番号15:30～16:15，偶数番号16:15～17:00
3p01-3p10：奇数番号10:30～11:15，偶数番号11:15～12:00
- 学生の発表（口頭発表・ポスター発表，視覚学会会員）を対象とした「ベストプレゼンテーション賞」の選考を行います．
- 使用言語は，日本語または英語とします．

1/19 (水)	1/20 (木)	1/21 (金)
----------	----------	----------

10:00

11:00

12:00

10:30-12:00 セッション4 (ポスター)	10:30-12:00 セッション7 (ポスター)
---------------------------------	---------------------------------

13:00

14:00

15:00

16:00

17:00

18:00

19:00

13:00 開会		
13:10-14:30 セッション1 (一般講演)	13:00-15:00 セッション5 (シンポジウム)	13:00-14:40 セッション8 (一般講演)
14:30-14:50 企業展示	意識や主観的 体験の神経科学 数理的なアプローチ との融合	14:40-14:50 企業展示
15:00-16:20 セッション2 (特別講演) 科学と社会の 信頼関係	15:00-15:20 企業展示	15:00-16:10 セッション9 (特別講演)
16:20-16:40 企業展示	15:30-17:00 セッション6 (ポスター)	視覚学習における ノンレム睡眠と レム睡眠の役割
17:00-18:20 セッション3 (一般講演)	17:10-18:00 世話人会	16:10-16:20 企業展示
18:30 幹事会	18:00-19:30 オンライン懇親会	16:20-16:50 総会・閉会

1日目（2022年1月19日水曜日）

13:00-13:10 開会

実行委員長：四本裕子（東京大学）

13:10-14:30 セッション1（一般講演）

座長：村井祐基（UC Berkeley）

- 1o01 質感再現に適した照明の拡散性評価における物体表面形状の影響
水島涼稀¹，土橋宜典²，佐藤弘美³，溝上陽子³
（¹千葉大学大学院融合理工学府，
²北海道大学大学院情報科学研究院，³千葉大学大学院工学研究院）
- 1o02 有彩色付与による明るさ感の増加が光沢感増大に与える影響
小泉和人，永井岳大（東京工業大学工学院）
- 1o03 明度知覚におけるハイライト除去に関わる画像特徴～PS統計量に基づく解析～
野平博希，永井岳大（東京工業大学工学院）
- 1o04 視覚情報処理における質感と感性の階層構造～応答時間による推定～
戸塚文紀，永井岳大（東京工業大学）

14:30-14:50 企業展示

15:00-16:20 セッション2（特別講演）

座長：本吉 勇（東京大学）

科学と社会の信頼関係

横山広美（東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構）

16:20-16:40 企業展示

17:00-18:20 セッション3（一般講演）

座長：佐藤弘美（千葉大学）

- 1o05 位置特異的な処理促進による傾き対比の減少—内的表象と意識内容の関係
中村友哉^{1,2}，村上郁也¹（¹東京大学大学院人文社会系研究科，²日本学術振興会）
- 1o06 自然な肌色変化が表情認識と印象評価に与える効果
加藤雅大¹，佐藤弘美²，溝上陽子²
（¹千葉大学大学院融合理工学府，²千葉大学大学院工学研究院）
- 1o07 顔の morphing 画像を用いた自己の顔に対する弁別閾と他者の顔に対する弁別閾の比較
原田珠華，四本裕子（東京大学教養学部）
- 1o08 視線知覚における情報統合過程の発達的变化—Wollaston 錯視を用いた検討—
大塚由美子¹，Colin Clifford²，渡邊克巳³（¹愛媛大学，²UNSW, Australia，³早稲田大学）

18:30- 幹事会

2日目(2022年1月20日木曜日)

10:30-12:00 セッション4(ポスター発表)

2p01 階段錯視とその逆傾斜錯視

彭 小倩¹, 伊藤裕之², 蘭 悠久³ (¹九州大学大学院芸術工学府,
²九州大学芸術工学研究院, ³島根大学人間科学部)

2p02 アイラインの色が目の大きさ知覚に与える影響

岩敷友梨加, 蘭 悠久 (島根大学人間科学部)

2p03 一直線上にある3つのドットのうち1つがずれて見える錯視

一ドットの近傍に置かれた円弧の効果の検討一

白井健太郎¹, 北岡明佳² (¹立命館大学人間科学研究科, ²立命館大学総合心理学部)

2p04 正立および倒立三角形の上下端知覚

相原健吾¹, 山崎大暉², 鈴木悠介³, 永井聖剛¹ (¹立命館大学総合心理学部,
²立命館大学OIC総合研究機構, ³立命館大学人間科学研究科)

2p05 図形変形錯視の見かけの回転運動を説明する修正モデル

櫻井研三 (東北学院大学教養学部)

2p06 黄・青知覚の非対称性の発達—物体画像を用いた実験—

楊 嘉楽¹, 溝上陽子², 金沢 創³, 山口真美⁴ (¹中央大学研究開発機構,
²千葉大学大学院融合理工学府, ³日本女子大学人間社会学部, ⁴中央大学文学部)

2p07 頭部の角度が明るさ知覚に与える影響

瀧澤雄輝, 田村秀希, 南 哲人, 中内茂樹 (豊橋技術科学大学情報・知能工学系)

2p08 継続的な注意における視聴覚間の干渉

中島 優, 蘆田 宏 (京都大学大学院文学研究科)

2p09 色弁別の知覚学習による色カテゴリー境界の変化

堀内涼葉, 永井岳大 (東京工業大学工学院)

2p10 Troxler効果発生後に生じる視覚現象の検討

金子太紀, 蘭 悠久 (島根大学人間科学部)

13:00-15:00 セッション5(シンポジウム:意識や主観的体験の神経科学~数理的なアプローチとの融合)

座長: 四本裕子 (東京大学)

意識の質(クオリア)と脳活動をつなぐ数理の探求

大泉匡史 (東京大学大学院総合文化研究科)

主観的知覚の多様性はなぜ生じるのか: 予測符号化理論に基づく構成的理解

長井志江 (東京大学ニューロインテリジェンス国際研究機構)

現象とアクセス: 意識の神経基盤の包括的理解に向けて

笹井俊太郎 (株式会社アラヤ)

- 15:00-15:20 企業展示
- 15:30-17:00 セッション6 (ポスター発表)
- 2p11 照度や相関色温度が明るさ感とコントラスト感度に及ぼす影響の年齢差に関する研究
(Study on Age-related Differences in Effects of Illuminance Level and Correlated Color Temperature on Brightness and Contrast Sensitivity)
永田浩太郎¹, 江藤太亮^{2,3}, 樋口重和³ (¹九州大学大学院統合新領域学府,
²日本学術振興会特別研究員, ³九州大学大学院芸術工学研究院)
- 2p12 脳波による物体表面の材質認識, 質感評価, および画像合成
織間大気^{1,2}, 本吉 勇¹ (¹東京大学大学院総合文化研究科, ²日本学術振興会)
- 2p13 画像の好み評価における眼球と頭部運動の影響
千葉寿晃¹, 羽鳥康裕^{1,2}, 佐藤好幸^{2,3}, 曾 加蕙^{1,2}, 塩入 諭^{1,2,3}
(¹東北大学大学院情報科学研究科, ²東北大学電気通信研究所,
³東北大学ヨッタインフォマティクス研究センター)
- 2p14 能動的・受動的な接近行動が表情認知に与える影響
小林優吾, 田村秀希, 中内茂樹, 南 哲人 (豊橋技術科学大学情報・知能工学系)
- 2p15 状態不安が感情的な逸脱音に伴う瞳孔反応に与える影響
高重賢生¹, 中古賀 理², 田村秀希¹, 中内茂樹¹, 南 哲人¹
(¹豊橋技術科学大学情報・知能工学系, ²鳥羽商船高等専門学校情報機械システム工学科)
- 2p16 視覚的文脈における大域知覚と局所知覚の事象関連電位
王 玲玲, 小島治幸, 蔣 佩倫 (金沢大学大学院人間社会環境研究科)
- 2p17 情動刺激が及ぼす顔検出能力の変化と特性不安の関連性
嵐田皓太, 谷山祐真, 田村秀希, 南 哲人, 中内茂樹
(豊橋技術科学大学情報・知能工学系)
- 2p18 VR環境における視点切り替えを用いたリーチング課題での身体所有感とその難易度
松田勇祐 (豊橋技術科学大学)
- 2p19 前景情報による遠景対象物の過大視効果のVR画像による確認
小田涼太 (東海大学大学院工学研究科)
- 17:10-18:00 世話人会
- 18:00-19:30 オンライン懇親会

3日目 (2022年1月21日金曜日)

10:30-12:00 セッション7 (ポスター発表)

- 3p01 硬貨を刺激に使った課題での系列依存性
森本優洸聖, 牧岡省吾 (大阪府立大学大学院人間社会システム科学研究科)
- 3p02 短時間提示条件下での輝度のばらつき弁別処理過程の検討
高野勇典¹, 木村英司² (¹千葉大学大学院融合理工学府, ²千葉大学大学院人文科学研究科)
- 3p03 PS統計量ノイズを用いた顔肌の明るさ感と関連する輝度統計量の逆相関解析
小曾根千穂¹, 永井岳大¹, 金子寛彦¹, 西野 颯², 沖山夏子²
(¹東京工業大学工学院, ²花王株式会社メイクアップ研究所)
- 3p04 サッカー前後の刺激変化順応が周辺刺激の認識に与える影響
野口諒太, 久方瑠美, 金子寛彦 (東京工業大学工学院)
- 3p05 刺激のオンセット及びオフセット非同期における視聴覚間時間的再校正の処理過程の検討
王 雅茹¹, 一川 誠² (¹千葉大学融合理工学府, ²千葉大学大学院人文科学研究科)
- 3p06 画像の局所的・大域的特徴によって変化する光沢感知覚とその瞳孔径
田村秀希, 中内茂樹, 南 哲人 (豊橋技術科学大学情報・知能工学系)
- 3p07 光沢知覚に適する照明環境要因の探索的検討
牧平颯也, 永井岳大 (東京工業大学)
- 3p08 Searching indexes for self-initiated attention shift
侯 登哲¹, 吳 韡², 小林司弥¹, 塩入 諭^{1,2,3} (¹東北大学情報科学研究科,
²東北大学電気通信研究所, ³東北大学ヨッタインフォマティクス研究センター)
- 3p09 特徴量表現の対照学習に基づく表現類似性分析の検討
中村大樹, 林 隆介 (産業技術総合研究所)
- 3p10 運動残効により動いて知覚される静止刺激における時間伸長
ラブレンテヴァ ソフィア, 中間卓巳, 村上郁也 (東京大学大学院人文社会系研究科)

13:00-14:40 セッション8 (一般講演)

座長: 中山遼平 (東京大学)

- 3o01 3次元オブジェクトの検出特性
和崎夏子^{1,2}, 竹内龍人¹ (¹日本女子大学大学院人間社会研究科, ²日本学術振興会)
- 3o02 感覚処理感受性と錯視の主観的強度
高橋康介¹, 酒井政佳², 鈴木理久人², 堀田兼吾², 山下棟健², 氏家悠太^{3,4}
(¹立命館大学総合心理学部, ²中京大学心理学部, ³日本学術振興会,
⁴立命館大学OIC総合研究機構)
- 3o03 アンサンブル知覚における現象的意識の役割
関本大勢¹, 本吉 勇² (¹東京大学教養学部, ²東京大学大学院総合文化研究科)

3o04 Double-drift illusionによる主観的な運動軌道への方位順応
田中真衣¹, 中山遼平², 村上郁也²
(¹東京大学文学部, ²東京大学大学院人文社会系研究科)

3o05 色覚異常者は色表現においてハンデを抱えるか?
武村知樹¹, 佐藤敬子² (¹香川大学大学院工学研究科, ²香川大学創造工学部)

14:40-14:50 企業展示

15:00-16:10 セッション9 (特別講演)

座長：四本裕子 (東京大学)

視覚学習におけるノンレム睡眠とレム睡眠の役割

玉置應子 (理化学研究所・開拓研究本部/脳神経科学研究センター)

16:10-16:20 企業展示

16:20-16:50 総会・閉会